

# クルクマについて

## 1 クルクマとは

クルクマは、東南アジア原産のショウガ科に属する球根植物で、元々はその根茎が食用や薬用として利用されてきました。

クルクマは暑さに強く、蓮の花に似ていることもあり夏の仏花として定着してきましたが、最近ではブライダル・アレンジフラワーにも使われるようになってきました。

日持ちが良いため、夏場でも切花で2週間程度楽しむことができます。

なお、ピンク色の花びらのようなものは包葉（ほうよう：葉の一種）で、その下にある小さい紫色のものが本当の花です。

品種名：シャローム



## 2 碧南市の花き生産状況について（農協ホームページから）

鉢物は、洋らん、観葉植物、花壇苗、鉢花と幅広い種類を生産しています。

切花は、主にきく、カーネーションを生産しており、他にもクルクマ、ケイトウなどを生産しています。特にクルクマは、県内生産量の大半を占めています。

クルクマについては、平成5年より全国に先駆けて切花として栽培を始めました。その後、品種の選別を進め全国でもトップの品質を誇るようになり、現在、生産者数は9名、栽培面積は1.1ha、生産量は年間44万本であり、品種はシャローム（ピンク）が9割を占め、他にエメラルド（緑）、ホワイトラブ（白）などを栽培しています。

出荷期間は5月から10月までで、需要期はお盆になり、関東・東北を中心に甲信越・中京・関西地区にも出荷しています。

### 【品種紹介】

エメラルド



ホワイトラブ



ゼブラチョコ



プリンセス



## 3 長く楽しむためのアドバイス

花びんに活ける前に、水を張ったバケツの中で2～3cm切り戻しを行ってください。

その後は、常温で保存し、直射日光を避けて飾ってください。なお、水替えをこまめに行って、午前中に最低1回は霧吹きで保湿すると更に長持ちします。

また、寒さは苦手なので、冷房の冷気が直接当たる場所は避けてください。葉っぱの元気がなくなってきたら、再度、切り戻しを行って、花びんの水を替えてください。